



報道発表資料

令和6年2月9日

担当:総務部 危機対策課 危機管理係

庄司・矢内

電話:022-767-2174

～2011年からのメッセージ・教訓を活かしたまちづくり～  
防災シンポジウムを開催します

■開催日：令和6年3月10日（日曜日）午後2時から午後4時30分まで

■場 所：文化交流センター「リフノス」（森郷新椎の木前31番1）

■参加者：役場職員、防災関係者、地域住民（公募予定）

■内 容：

東日本大震災を職員として経験していない若手職員（全職員の約40%）の防災意識を向上させるとともに、教訓を活かしたまちづくりに活かすことを目的に上記のとおり開催しますので、報道機関の皆様におかれましては、当日の様子を取材いただきますようお願いいたします。

○全体テーマ

～2011年からのメッセージ・教訓を活かしたまちづくり～

○第1部：基調講演（午後2時から午後2時50分）

①講師：アベナオミ氏（利府町在住時に東日本大震災に罹災）

②演題：「おうち防災～お片付けが家族の命を守る！～」（仮題）

○第2部：パネルトーク（午後3時10分～午後4時30分）

①パネリスト：元役場職員（当時の防災担当課長）、学校職員、行政区長

②テーマ（仮題）

○発災直後に取り組んだ事柄と課題

○復旧・復興に向けての取り組みと課題

○震災を経験していない方々へのメッセージ

■その他：

・災害発生等により、急遽中止となる場合には改めてお知らせいたします。

・2月10日以降、リフノスHPで公募を行います。（先着300名）

・その他詳細は別紙チラシをご確認ください。

# 防災シンポジウム

## ～ 2011年からのメッセージ・ 教訓を活かしたまちづくり～

2024年 **3月10日** (日) ⌚ 14:00～16:30

利府町文化交流センター「リフノス」 多目的ホール 🚗 無料駐車場完備

### 第1部

#### おうち防災

～お片付けが家族の命を守る!～

東日本大震災時、  
利府町で被災されたきっかけから、  
ママ防災士としての「もしもの備え」

講師

イラストレーター **アベナオミ** 氏



1985年生まれ。多賀城市出身、仙台市在住のイラストレーター。利府高校出身、日本デザイナー芸術学院仙台校を卒業後、地元情報誌のデザイナーを経てイラストレーターに。コミックエッセイを中心に活動中。現在は3児の母。長男が1歳のときに利府町で東日本大震災を経験し、防災に関するイラストとコミックがライフワークの一つ。2016年12月には防災士の資格を取得。防災セミナー講師として全国で講演活動も行う。

### 第2部

#### パネルトーク

パネリスト

菅谷一部 行政區長  
【震災当時】利府町役場生活環境課長

**小山田喜悦** 氏

しらかし台中学校 養護教諭  
【震災当時】利府西中学校 養護教諭

**新田奈緒** 氏

浜田地区 行政區長  
【震災当時】会社員

**加藤利一** 氏

コーディネーター

利府町文化交流センター  
公民館文化会館運営担当 **田邊晶子**

救護団体に20年以上勤務。東日本大震災時に救護班として、熊本大震災では災害対策本部要員として派遣経験を持つ。2018年大阪北部地震では、行政や他団体と連携し災害ボランティアセンターの運営を経験した。

申込期間

**2月10日** (土)  
～ **3月8日** (金)

申込方法

事前にお電話または「リフノス」総合案内窓口にてお申込みください。  
お申込みの際は①氏名、②市町村、③年代、④電話番号をお知らせください。  
※先着順につき定員に達し次第、締切とさせていただきます。  
※座席に余裕があれば、当日も受付いたします。

■主催：利府町、利府町文化交流センター「リフノス」指定管理者 利府みらいクリエイティブ



**リフノス**  
利府町文化交流センター

〒981-0103

宮城県宮城郡利府町森郷字新椎の木前 31-1

公民館・文化会館

022-353-6114

先着  
300名

入場無料  
事前申込制

